学校番号	2101

令和８年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	「高等学校　地学基礎　改訂版」（啓林館）						
副教材等	「地学基礎の基本マスター　新訂版」（啓林館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちが生活する地球は、大地や大気・海洋、宇宙空間のすべてが複雑に関係・影響し合い、過去から現在、そして未来にかけて、常に変動し続けている場所です。地学基礎の授業で、広大な時間・空間スケールという視点を持って「宇宙の中で私たちはどのような存在なのか」を知り、「これからこの地球上でどのように生存していくのか」を考えましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
地学基礎に含まれる基本的な用語と概念を習得する。基本的な観察、実験の手法を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
提示された課題に対して科学的に探究するために必要な情報を取得する。取得した情報に基づいて理科的な見方・考え方を働かせて考察する。考察した結果を、明瞭に表現することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身につけている。	自然の事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前半	地球の構造と活動	地球の構造	a：地球内部の層構造とその状態について理解することができる。 b：地球の形と大きさについて，観察や測定の結果などから考えることができる。 c：地球の特徴に興味をもち，地球の形と大きさについて調べようとする。	単元テスト ノート	単元テスト ノート	授業への取り組み
		活動する地球	a：3 種類のプレート境界について理解することができる。 b：地震の発生や火山活動のしくみをプレート運動と関連づけて考えることができる。 c：地震の発生や火山活動のしくみについて振り返って，日常生活や社会に生かそうとする。	単元テスト ノート	単元テスト ノート	授業への取り組み
	大気と海洋	大気の構造 太陽放射と大気・海洋の運動 日本の天気	a：大気圏や海洋の層構造について理解することができる。地球全体のエネルギー収支がつり合っていることを理解することができる。 b：雲の発生のしくみについて，大気中の水蒸気のふるまいと関連づけて考えることができる。 c：日本の天気について興味をもち，日本の天気に影響を与える偏西風や季節風の特徴について調べようとする。	単元テスト ノート	単元テスト ノート	授業への取り組み

後半	移り変わる地球	宇宙と地球	a：宇宙や太陽系の誕生と，地球型惑星と木星型惑星の成因の違いについて理解することができる。 b：太陽系の各天体の違いを比較し，地球が生命を生み出す環境となった理由について考えることができる c：宇宙と太陽の誕生の経緯に興味をもち，宇宙の誕生と恒星としての太陽の誕生について調べようとする。	単元テスト ノート	単元テスト ノート	授業への取り組み
		地球史の読み方 地球と生命の進化	a：地球の誕生から生命の出現に至る地球の歴史について理解することができる。 b：地質構造や化石などの地層の記録や，地層の対比などに基づいて，地球の歴史について考えることができる。 c：地球の歴史に興味をもち，地球環境の変化と生物の活動の相互関係について調べようとする。	単元テスト ノート	単元テスト ノート	授業への取り組み
	自然との共生	さまざまな災害 地球環境の変化	a：人類が自然から受けている多様な恩恵について理解することができる。 b：地震災害，火山災害について考えることができる。 c：人間生活と地球環境の変化との関係について振り返って，日常生活や社会にいかそうとする。	単元テスト ノート	単元テスト ノート	授業への取り組み

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度